

試合番号 : 455	試合会場 : 紫波町総合体育館	観客数 : 411						
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:09	試合時間 : 02:09	主審 : 明井 寿枝	副審 : 高橋 宏明				
PFUブルーキャッツ	通算 0勝 2敗 ポイント: 0	25 第1セット 21	25 第2セット 25	27 第3セット 27	25 第4セット 25	第5セット	埼玉上尾メディックス	通算 1勝 0敗 ポイント: 3
監督コメント	紫波でのホームゲーム、2連敗となり会場の皆様は勝利をお届け出来ずとも残念、各セットとも拮抗した展開でのプレーの質と精度の差が結果として出たと思う。来週の試合に向けてまだまだしっかり準備をしていきたい。本日も沢山の応援を頂き、ありがとうございます。	1	3	監督コメント	リーグ戦終了の余韻に浸る間もなくVCupが開幕しました。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。佐々木海空の故障である若手県で、埼玉上尾の元気な姿をお見せすることができ嬉しく思います。また、夏合宿では陸前高田市の関係者の皆様をはじめ、たくさんのご支援をいただきました。勝利の歡喜とともに味わうことができ幸いです。序盤、PFUの質の高いスイングに苦戦しました。その中でも怯まずに戦い続けてくれた選手たちは素晴らしいです。			
要約レポート	ホームPFUブルーキャッツの第2戦、埼玉上尾メディックスの対戦は、第1セット、終盤まで僅差でゲームは進むが、PFU川崎のライトからのスパイクで抜け出すとそのままセットを先取した。第2セット、序盤から埼玉上尾リードで試合は進む。PFUは3連続ブロックなどで追いつけるが埼玉上尾は仁井田、山地のライトスパイクで突き放し、山中の連続ブロックでこのセットを奪い返す。第3セット、終盤まで互いに展開が続く。最後、埼玉上尾・佐々木が得点を重ね、連取した。第4セット、中盤までPFUのリードで進む。埼玉上尾はタイムアウトから流れを戻し、6連続ポイントで突き放しにかかる。PFUは川崎、志摩の両サイドのスパイクで追いつけるが、埼玉上尾は佐々木のスパイクが決まり熱戦を制した。							

試合番号 : 456	試合会場 : 黒部市総合体育センター	観客数 : 952						
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:22	試合時間 : 01:22	主審 : 増岡 三佳子	副審 : 服部 篤史				
KUROBEアクアフェアリーズ	通算 0勝 2敗 ポイント: 0	16 第1セット 25	16 第2セット 25	21 第3セット 25	第4セット	第5セット	NECレッドロケッツ	通算 1勝 0敗 ポイント: 3
監督コメント	今シーズンホームゲーム最終戦となり、多くの皆さんが会場に足を運んでいただきました。VリーグチャンピオンチームのNECレッドロケッツに対して、勝利したいところでしたが終盤ストロングサーブに苦しめられ、リズムを作ることができず、0-3の完敗となりました。VCup残り3試合、自分たちの目指すパーを追求し良い準備をし、最後まで戦いたいと思います。今後ともご声援よろしくお願いいたします。	0	3	監督コメント	本日も応援をありがとうございます。リーグから準備期間が短い中で、コート内外問わず密なコミュニケーションを取りながら今日のゲームに向けて詰めていたことが勝利に繋がったと感じています。新たな課題も見えましたが、練習、試合を通してどんどん成長していけるようにしていきたいと思っています。引き続き熱い応援をよろしくお願いいたします。			
要約レポート	今シーズンのVリーグチャンピオンNECレッドロケッツと、KUROBEアクアフェアリーズとの対戦。KUROBEは今シーズンホームで白星を挙げておらず、何となくこのホーム最終戦で地元ファンに勝利を届けたい意気込みがある。第1セット、立ち上がりからNECが佐藤、ドルズのスイングにKUROBEのミスも重なり4連続得点する。その後も4連続得点し9-2と主導権を握る。KUROBEも梅津、コラムの攻撃で応戦し10-13と一時3点差まで追いつけるが、NECはその後アチャラポン、佐藤の攻撃で得点を重ね、このセット大差で先取した。第2セット、序盤は接戦の展開となるも、NECが9-8から佐藤、アチャラポンの攻撃などで3連続得点すると、そこから3連続得点を重ねリードを広げる。KUROBEは梅津、住田で得点するが、このセット連続得点は序盤の2度しか奪えず、NECがセットを連取した。第3セット、序盤、NECが連続得点を重ね9-5とし、このセットも一方的な流れになるかに見えたが、KUROBEも浮島、佐藤(黎)の攻撃で踏み留める。そして、15-18から浮島、梅津の攻撃で4連続得点し逆転すると会場は大きく盛り上がる。しかし、ここからNECが廣田、佐藤の攻撃などで5連続得点しKUROBEを突き放すと、最後は甲がセンターから強烈な連取を決め勝利を決めた。							

試合番号 : 457	試合会場 : 小真木原総合体育館	観客数 : 896						
開始時間 : 13:00	終了時間 : 15:02	試合時間 : 02:02	主審 : 菅原 潤	副審 : 浅井 唯由				
プレステージ・インターナショナルアランマーレ	通算 0勝 2敗 ポイント: 1	16 第1セット 25	24 第2セット 26	25 第3セット 22	20 第4セット 25	第5セット	JTマーヴェラス	通算 1勝 0敗 ポイント: 3
監督コメント	お足元の悪い中、昨日よりも多くのShimaneの皆さん足を運んでいただき感謝しています。JTマーヴェラスのラリーに慣れていくのに時間を要し、ファンサイドの展開となりました。セットを重ねることで少しずつアジャストができ終盤は良く機能してデュースまで持ち込むことができました。特に3セット目はスタートからアジャストができ迷い無く押し切ることができました。しかし、4セット目は終盤で相手の高さやパワーに押し切られる形となりました。2日間本場にたくさんのご声援ありがとうございました。VCupはまだまだ続きます。身体の距離は遠くなりますが心の距離は遠くないので、最後まで熱い応援よろしくお願いいたします。	1	3	監督コメント	本日もたくさんの応援ありがとうございます。VCupの初戦に向けて、相手というよりは自分たちの強みを出すことと、短い期間でも準備してきたことを出し切ることにフォーカスして今日の試合に臨みました。ゲームのスタートは非常にいい形で入りましたが、2セット目の終盤以降から相手の攻撃に切り返されることとなり、苦しい展開が続きました。その中でもコミュニケーションを取りながらセットを重ねることに修正できた部分もあったと感じています。自分たちは成長し続けるチームとして次戦に向けても、チャレンジする気持ちを忘れずに、試合を重ねることに強くなっていきたいと思っています。引き続き熱い応援よろしくお願いいたします。			
要約レポート	第1セット、プレステージ・インターナショナルアランマーレが序盤、小野山、岡村のスパイクでリードするが、JTマーヴェラスは宮部のスパイクで流れを掴み一進一退の展開。JTは中盤からサーブで相手手を崩し、最後はブロックで一気に突き放しセットを取った。第2セット、JTは宮部の攻撃を軸に点を重ねる。アランマーレは木村の攻撃で流れを掴み追いつけるが追いつかずJTがセットを連取した。第3セットも一進一退の展開。中盤に交代したアランマーレ工藤が活躍して、チームにいい流れを引き込んだ。アランマーレは連続得点を獲得してこのセットを取った。第4セットは序盤からJTがサーブとブロックでリードする。アランマーレは粘りあるレシーブとセンター攻撃で追いつけるもJTのブロックに阻まれる。最後は宮部が決めJTがこの試合に勝利した。							

試合番号 : 458	試合会場 : 笠岡総合体育館	観客数 : 920						
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:50	試合時間 : 01:50	主審 : 佐々木 伸子	副審 : 種元 桂子				
岡山シーガルズ	通算 2勝 0敗 ポイント: 6	25 第1セット 17	25 第2セット 20	22 第3セット 25	25 第4セット 22	第5セット	東レアローズ	通算 0勝 1敗 ポイント: 0
監督コメント	昨日に引き続き、2セット目まではまずまずの流れであったが、ホッとした隙を東レに攻められ、出来上がってきている粘りを崩されてしまった。4セット目、ベテランがいい味を出してくれ、持ち前の粘りで勝ち切ることができた。この笠岡大会での2勝を、チームのすみにしていきたい。2日間に渡り、チームを後押しして下さった、たくさんの熱いご声援、誠にありがとうございました。	3	1	監督コメント	ゲームの入りは課題が残りましたが、セットを重ねることにブロックとディグの関係も、セッターとのコンビネーションも良くなっていった。まだまだ粗く、失点も減らしていかなくてはいいませんが、この1カ月で取り組んできたことは間違いないと思います。勝てるチームになれるように、引き続き強化を進めていきますので、応援よろしくお願いいたします。			
要約レポート	ホームで予選ラウンド初戦を勝利で飾った岡山シーガルズと今日が予選ラウンド初戦の東レアローズの一戦。第1セット、序盤から岡山は釜田、佐伯、東は谷島を中心に得点し五角のスタートを切るが、岡山が佐伯の攻撃やブロックなどで徐々にリードを広げる。東しも深澤や古川などの攻撃で得点し反撃するが、終盤に入り岡山はブロックで得点を重ね、セットを先取した。第2セット、このセットも序盤から岡山が好サーブで相手のレシーブを崩しリードを奪う。東しも深澤を中心にバックアタックを絡めたパワフルな攻撃で対抗し終盤まで競り合いが続くが、岡山は田口のブロックや山城の攻撃などで抜け出し、セットを連取した。第3セット、序盤から岡山は田口、山城のブロック、東は谷島、古川のアタックなどで得点し競り合いとなるが、中盤に入り東しが深澤の攻撃やタナパンのサービスエースなどでリードを奪う。終盤に入り岡山もブロックで得点を重ね追いつけるが、東しが逃げ切りセットを奪い返した。第4セット、序盤から岡山は小松原、佐伯、東は古川、深澤を中心に得点を重ねこのセットも五角の展開となる。中盤に入っても東しは谷島や古川、岡山は小松原の攻撃などで得点を重ね競り合いが続くが、最後は岡山が佐伯の連続得点でセットを奪い、ホームで開幕2連勝を飾った。							